

日本経営論		講義	教授 小関 広洋
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23202201

1. 授業のねらい・概要

日本企業の経営スタイルは、欧米企業との対比において大きな特色があり、その評価は時代とともに変化してきた。さらに、グローバル競争の中で、日本的経営自体も変わりつつある。この授業では、日本的経営の特色とその背景を概観した上で、その強み・弱みを分析し、今後の課題と変化の方向性について考える。なお、本科目の履修にあたっては、「経営管理総論 A・B」をあわせて履修することが望ましい。

2. 授業の進め方

毎回配布するハンドアウト資料に沿った講義形式で進める。また随時、事例研究も行う。理解の定着と考え方を養うため、原則として毎回、練習問題（記述式または穴埋め式）を課し、成績評価に反映する。

3. 授業計画

1. イントロダクション：グローバル化と日本企業	9. 人口減少、社会保障と財政問題
2. 世界から見た日本型経営の特徴とその評価	10. 日本企業の人材マネジメントと生産管理
3. 日本経済の変遷と企業経営	11. 財務管理とコーポレート・ガバナンス
4. 労働市場の構造変化	12. グローバル競争と日本型経営
5. 産業構造の変化	13. 日本型経営の強さと価値
6. 中小企業とベンチャー企業	14. 日本型経営の将来を考える
7. 日本の金融システムと金融政策	15. まとめ
8. 環境・エネルギー問題と企業	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに、前回の授業内容を復習しておくこと。さらに、授業中に指示された事項について、調べておくこと。なお、これらの準備学修には、2 時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

練習問題については、授業の中でポイントを解説する。試験については、実施の際に出題意図を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

日本的経営の特色を理解し、企業の競争力・問題点についてこれらの概念を用いて説明し評価できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（授業中の練習問題への評価を含む）50%，定期試験の成績 50%によって評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回配布するハンドアウトをテキストとする。参考書として、宮川努/細野薫/細谷圭/川上淳之（2019）『日本経済論』（中央経済社）、および渡辺聡子（2015）『グローバル化の中の日本型経営』（同文館出版）を推奨する。

9. 受講上の留意事項

新聞やニュースなどを通じて、日頃から経済や企業に関する情報に関心を持つこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関およびコンサルティング業務における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。